



2025年3月期 第2四半期（中間期） 決算説明資料

東証スタンダード・福証 証券コード8596

2024年11月

株式会社九州リースサービス

- 1** 2025年3月期 第2四半期決算の概要
- 2** セグメントの状況
- 3** 2025年3月期 業績予想（上方修正）

1

2025年3月期 第2四半期決算の概要

1 全セグメントで増収増益、2Qの営業・経常利益は過去最高を更新

リース割賦、ファイナンスの営業資産積み上げによるベース収益増加に加えて、販売用不動産の売却や仲介手数料収入の拡大等により、営業利益は前年同期比で7億円（+26.8%）増益。

2 営業資産は1,852億円（前期末比+31億円、1.7%増）

リスク・リターンのバランスに留意した営業資産の質の向上と量の拡大を併進。

3 通期業績予想を上方修正

足許の好調な進捗状況を踏まえ、通期業績予想を売上高および各利益段階ともに上方修正。上期計画超過分についてはそのまま通期予算に上乗せする営業計数計画で下期推進。

4 配当予想を上方修正

通期業績予想の上方修正とともに、期末配当について6円の増配予想を発表。創立50周年の記念配当4円と合わせ、前期比+10円の増配見込み。

2025年3月期 第2四半期決算概要

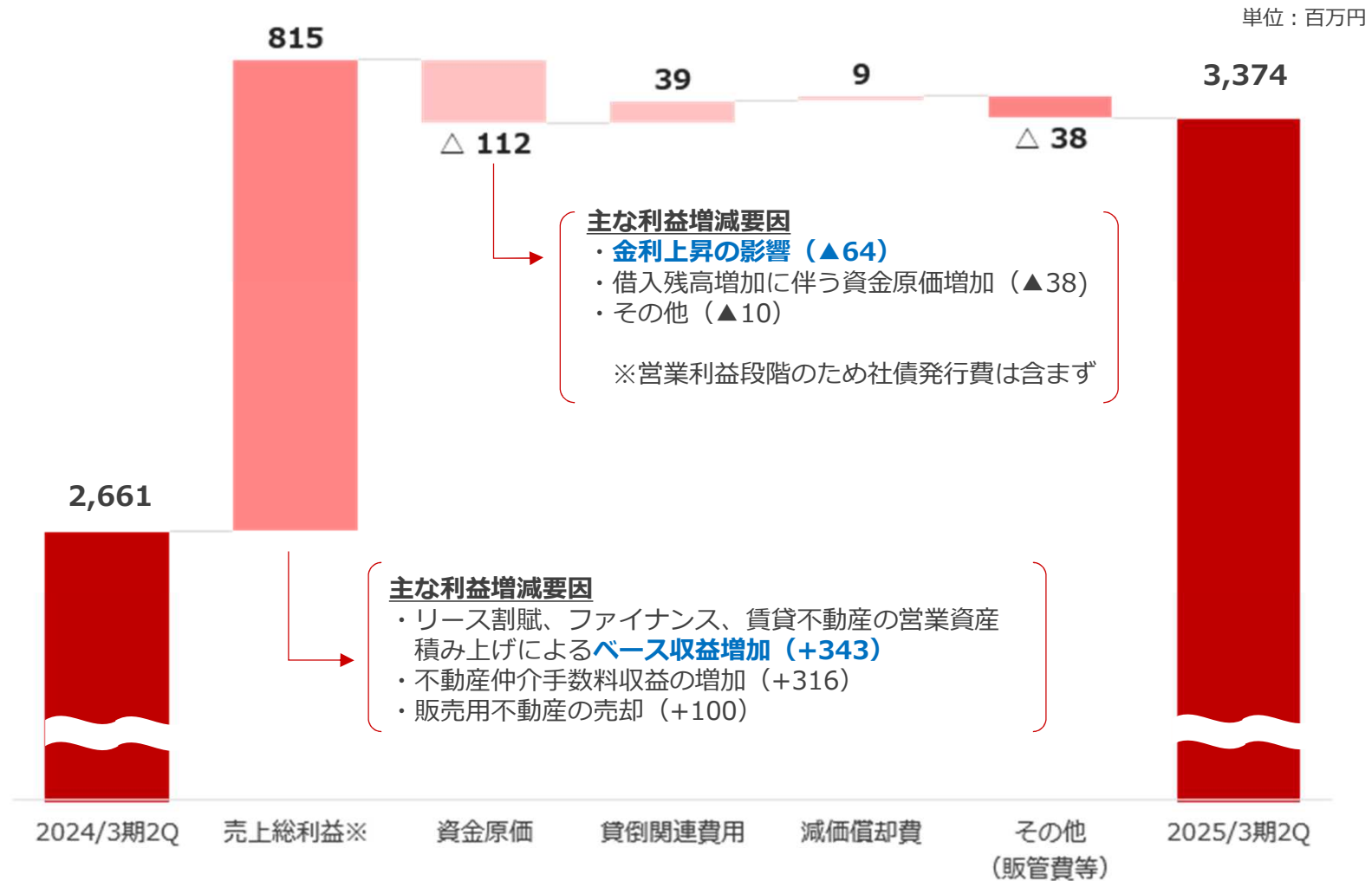
- 売上高は前年同期比+50億円の大幅な増収。ベース収益増加に加え、当初下期に計画していた連結子会社における不動産売却収入を上期で取り込み。
- 昨年グループ化した西日本不動産開発(株)とのシナジー強化による、不動産情報量や取引機会の拡大に取組んだことで前年同期を大きく上回る実績を確保し、増益に貢献。

単位：百万円、%

	2024/3期2Q		2025/3期2Q			
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	16,368	100.0	21,365	100.0	+4,996	+30.5
営業利益	2,661	16.3	3,374	15.8	+713	+26.8
経常利益	2,640	16.1	3,303	15.5	+663	+25.1
当期純利益 ※	1,799	11.0	2,050	9.6	+251	+14.0

※ 親会社株主に帰属する中間純利益、以下同じ

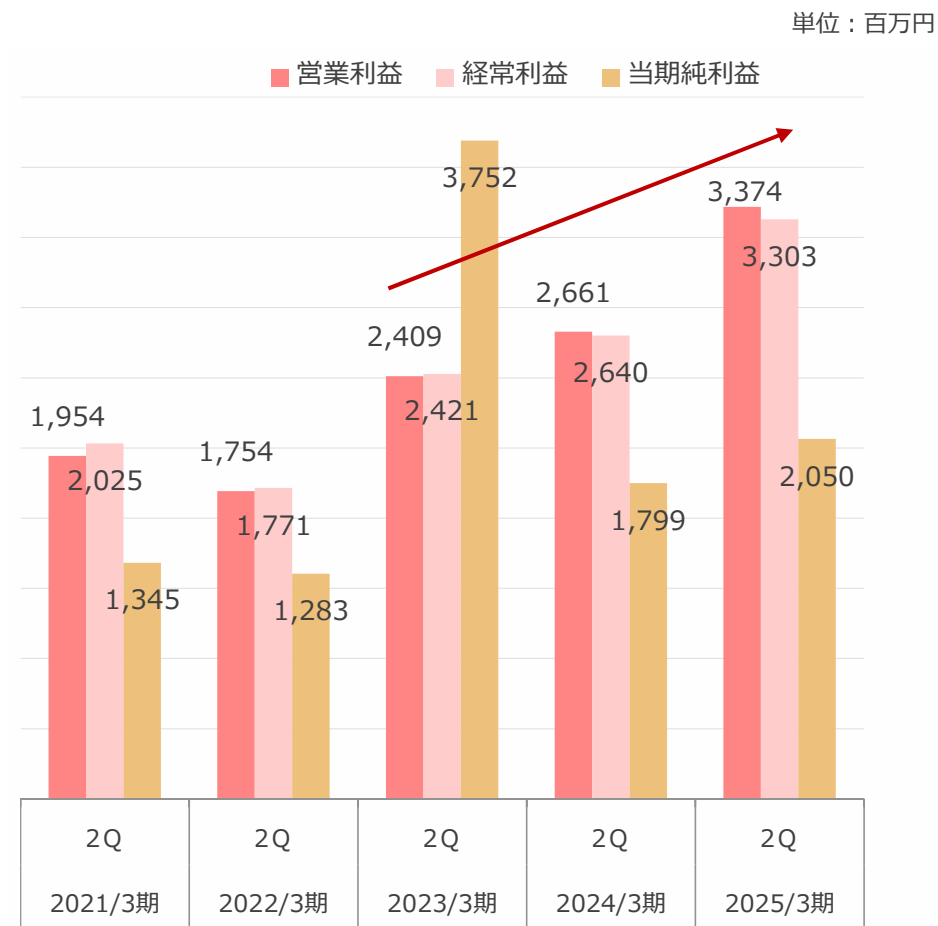
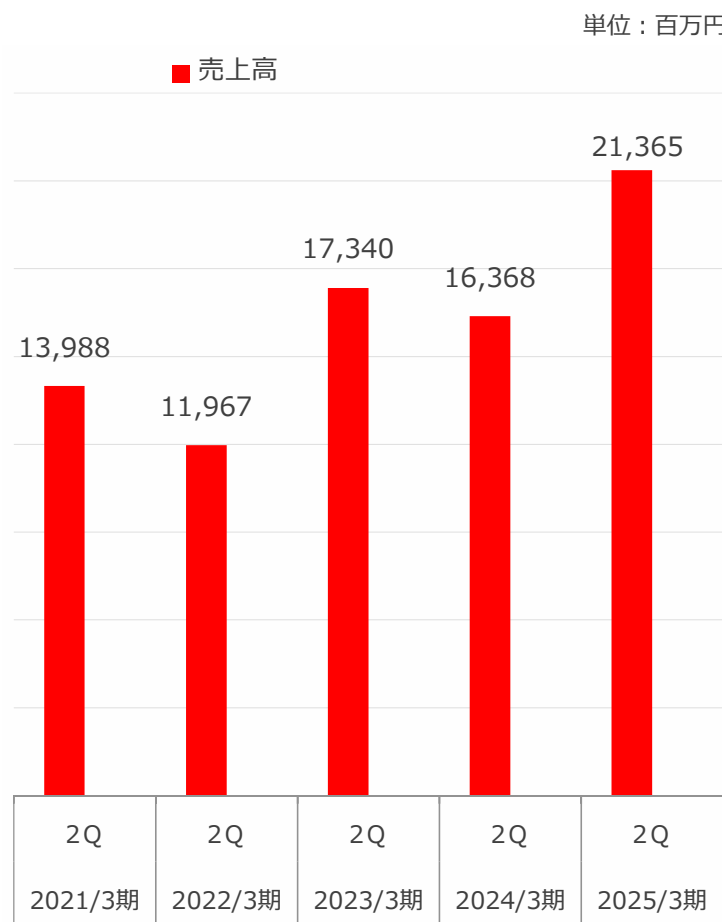
営業利益の増減要因



※資金原価、減価償却費を除く

四半期別業績推移（累計期間）

■ 連結子会社における販売用不動産の計上を主因とし売上高は前期比+30.5%の増収
 営業利益、経常利益においては3期連続の増益



貸借対照表

販売用不動産については新規取得の金額を売却額が上回り、37億円の残高減少
リース債権及びリース投資資産、割賦債権、営業貸付金が増加し資産合計は31億円の増加
資産増加に伴い負債合計は12億円増加。社債発行により長短借入金を縮減。

単位：百万円

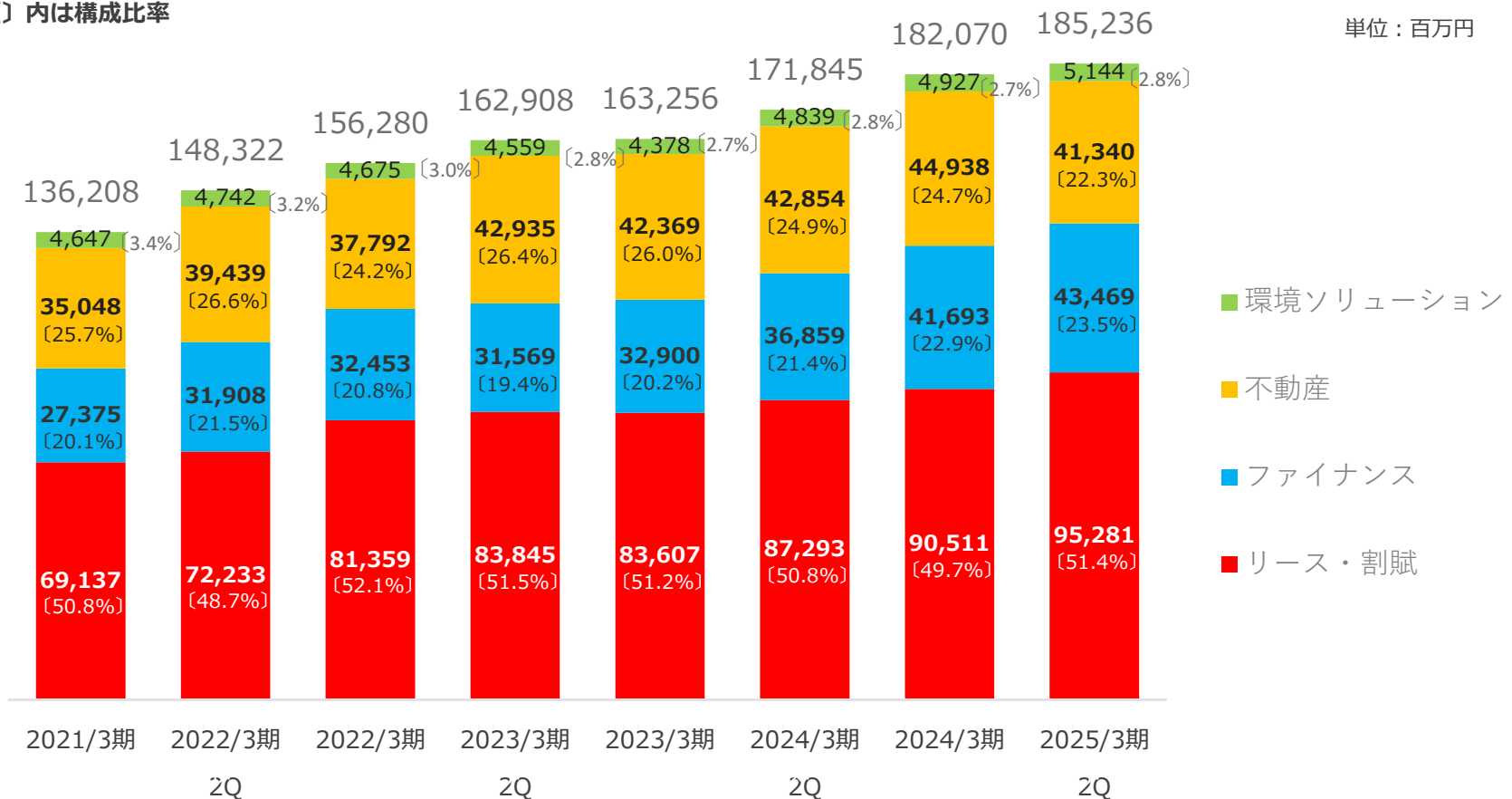
	24/3期末	25/3期 2Q末	増減額
流動資産	142,998	145,717	+2,719
現金及び預金	5,087	4,772	△315
割賦債権	25,756	27,225	+1,469
リース債権及び リース投資資産	60,265	63,698	+3,433
営業貸付金	41,262	43,124	+1,862
販売用不動産	10,207	6,429	△3,778
固定資産	50,399	50,787	+388
有形固定資産	39,617	39,518	△99
賃貸不動産(純額)	30,356	30,541	+185
無形固定資産	548	504	△44
投資その他の資産	10,234	10,764	+530
投資有価証券	8,639	9,006	+367
資産合計	193,398	196,505	+3,107

	24/3期末	25/3期 2Q末	増減額
流動負債	55,179	49,383	△5,796
短期借入金	44,998	39,755	△5,243
固定負債	98,076	105,142	+7,066
社債	9,300	19,050	+9,750
長期借入金	78,064	75,329	△2,735
負債合計	153,256	154,525	+1,269
純資産	40,142	41,980	+1,838
負債純資産合計	193,398	196,505	+3,107
自己資本比率 (%)	20.6	21.1	+0.5

営業資産の推移

- 単純なボリューム拡大に留まらず、リスク・リターンのバランスに留意した資産の入替に取組み、各セグメントの特性を踏まえた営業資産の純化を推進
- 2025/3期 2Q営業資産残高合計は前期末比+31億円 (+1.7%) の1,852億円。建物リース中心にリース割賦残高が伸びたほか、不動産関連融資などファイナンス残高も増加

※ □ 内は構成比率



トピックス……半導体関連の取組状況

半導体関連設備投資への戦略的アプローチ

- 半導体メーカーによる工場建設やサプライチェーン機能増強といった直接的な投資と、周辺の住居や商業施設、社会インフラ等に対する関連投資が想定され、当社としては両方に注力し業容拡大を図る
- 現時点においては、半導体関連企業の出店拡大や物流倉庫建設などの投資が目立つ状況で、**関連投資まで本格的に拡がるにはもう少し時間を要する**と想定。徐々に実績は積み上がりつつあるものの、**設備投資需要はまだ始まったばかり**との認識。

2025/3期 2Qにおける取組状況

リース 割賦

- 土木建設機械・輸送用機器の新規実行高が伸長（前年同期比+39%）
～ **大企業の工場等建設**に伴って、2次請け・3次請けの**地場業者にまで投資需要が拡大**
- オフィス倉庫（熊本県大津町）の建物リースを実行。熊本/半導体関連の建物リース取組みとしては、複合商業施設（熊本県菊陽町）、物流倉庫（鹿児島県薩摩川内市）に続く3例目
～ 国内半導体関連企業の**事務所移転・拡充ニーズに対応**

不動産

- 前期に仕入れていた熊本県大津町の開発用地を売却
- 当社取引先が保有する土地の売買（熊本県大津町）を当社が仲介し手数料獲得
～ 熊本県内を中心に**開発用地の取得競争が加速**。売買・仲介・開発等、多方面から当社も関与



物流倉庫（鹿児島県薩摩川内市） オフィス倉庫（熊本県菊池郡大津町）

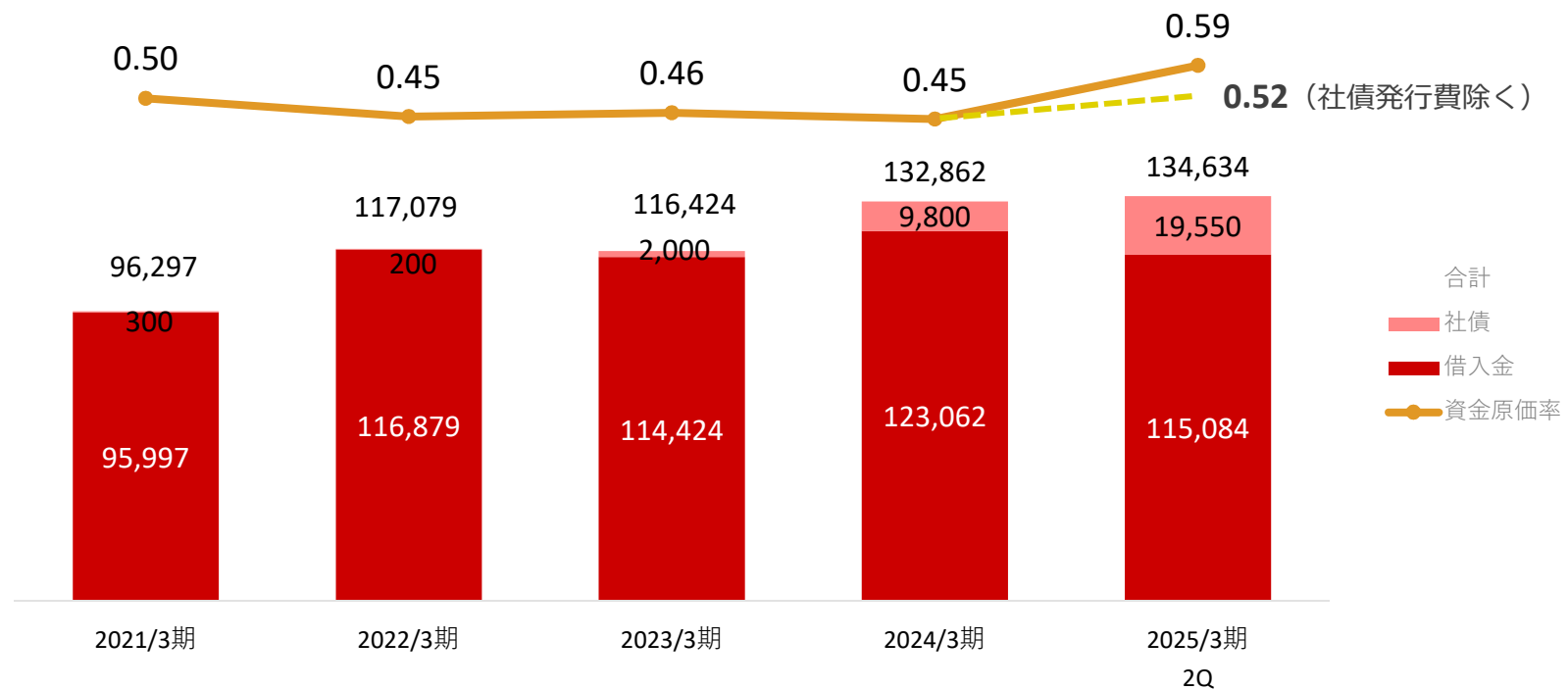
ラフタークレーン（左:タダノ製70トン、右:タダノ製13トン）

調達状況

- 借入金・社債残高は、営業資産残高の増加に伴い、前期末比+17億円の1,346億円
- 金利上昇の影響に加えて、普通社債100億円の発行費用等により資金原価率は上昇
短期的にはコスト増加が先行するものの、リース割賦・ファイナンスの新規実行分への
転嫁が進むことで中長期的には平準化を見込む

【借入金・社債残高 および 資金原価率】

(百万円、%)



(注) 資金原価率 = 資金コスト ÷ 営業資産 (期首期末平均残高)

資金コスト = 資金原価 + 支払利息 + 社債発行費

トピックス……7月24日に第2回無担保社債を発行

第2回無担保社債を発行

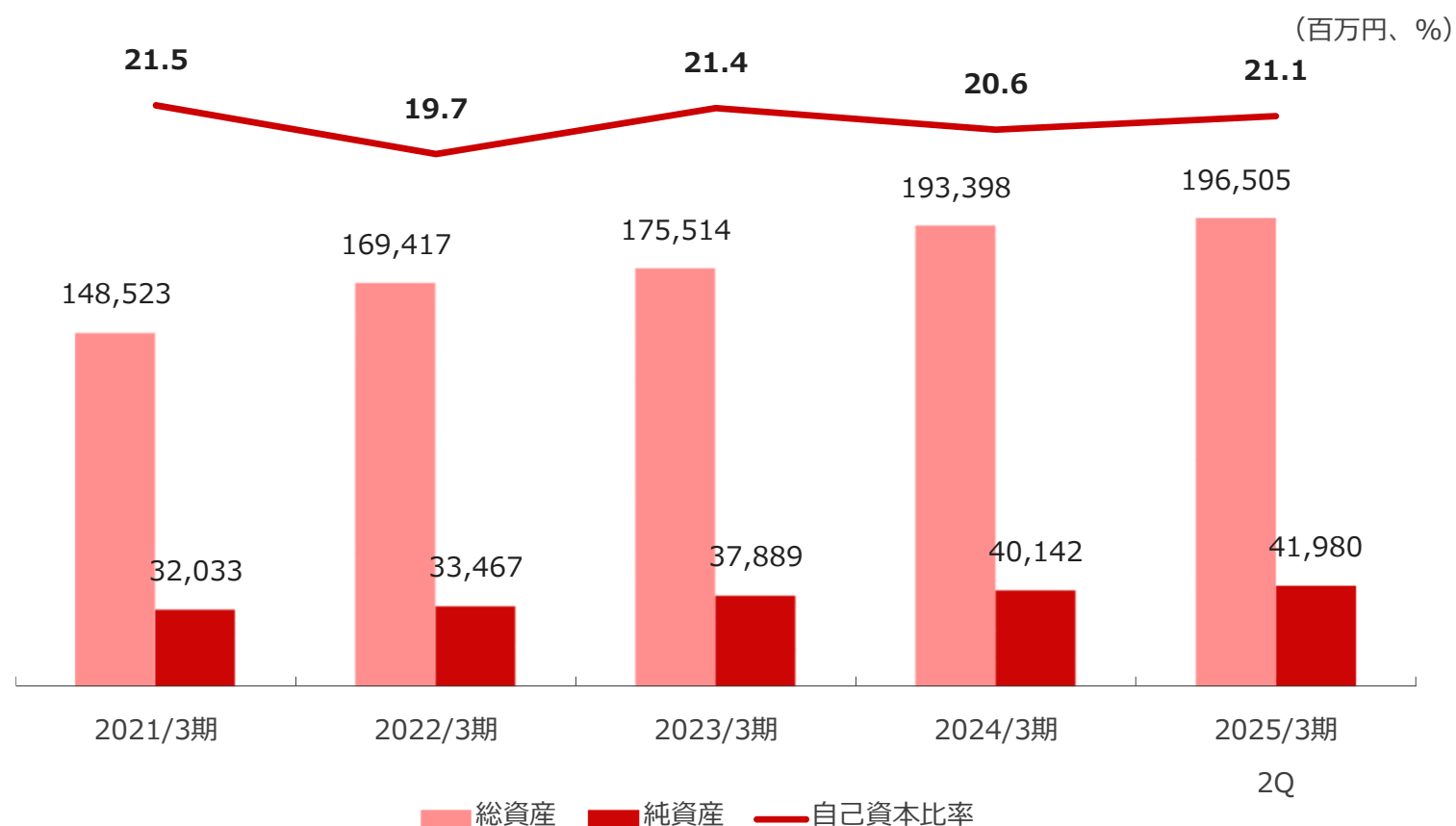
第2回無担保社債（以下「本普通社債」）の概要は以下のとおり。
 本普通社債の発行は、2023年7月に続き、2回目の公募による起債。
 今後も資金調達手段の多様化を図り、資金調達の安定性向上に努める方針。

【本普通社債の概要】

名 称	株式会社九州リースサービス第2回無担保社債（社債間限定同順位特約付）
社 債 の 総 額	100億円
各 社 債 の 金 額	1億円
利 率	年1.088%
償 還 期 限 （ 年 限 ）	2029年7月24日（5年債）
払 込 期 日	2024年7月24日
利 払 日	毎年1月24日及び7月24日
取 得 格 付	A（株式会社日本格付研究所） A（株式会社格付投資情報センター）
引 受 会 社	みずほ証券株式会社、SMBC日興証券株式会社、野村証券株式会社
財 務 代 理 人	株式会社西日本シティ銀行
振 替 機 関	株式会社証券保管振替機構

総資産・純資産・自己資本比率の推移

- ROE向上に向けたバランスシートコントロールを重視。
安定的な資金調達の実現に向けた外部評価の維持・向上や、リスクバッファの観点から一定の自己資本比率は確保し、高収益資産の積み上げ・入替により収益性を高めていく方針



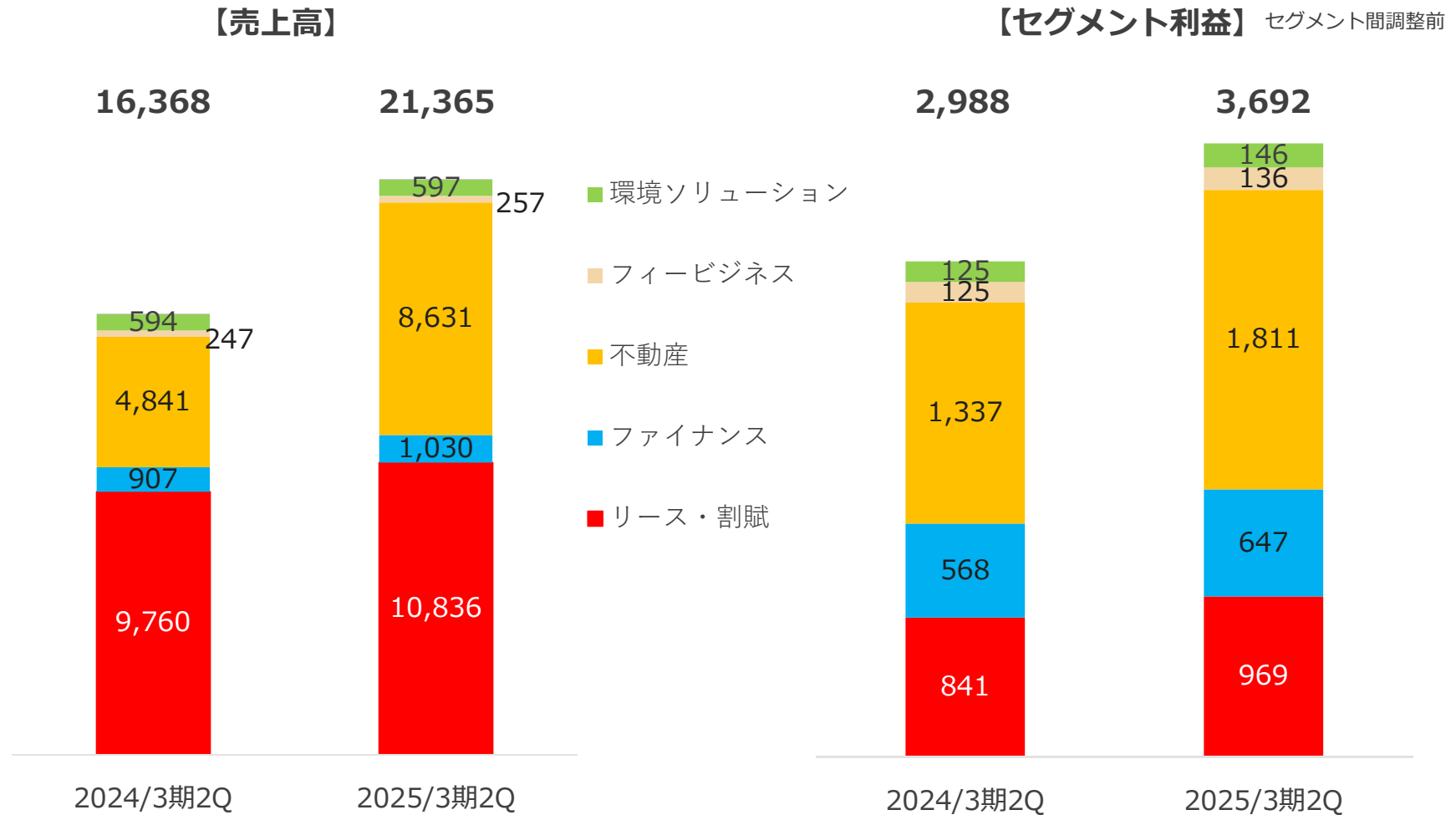
2

セグメントの状況

セグメント別 売上高・利益

2025/3期 2 Qは、全セグメントとも増収増益の実績。

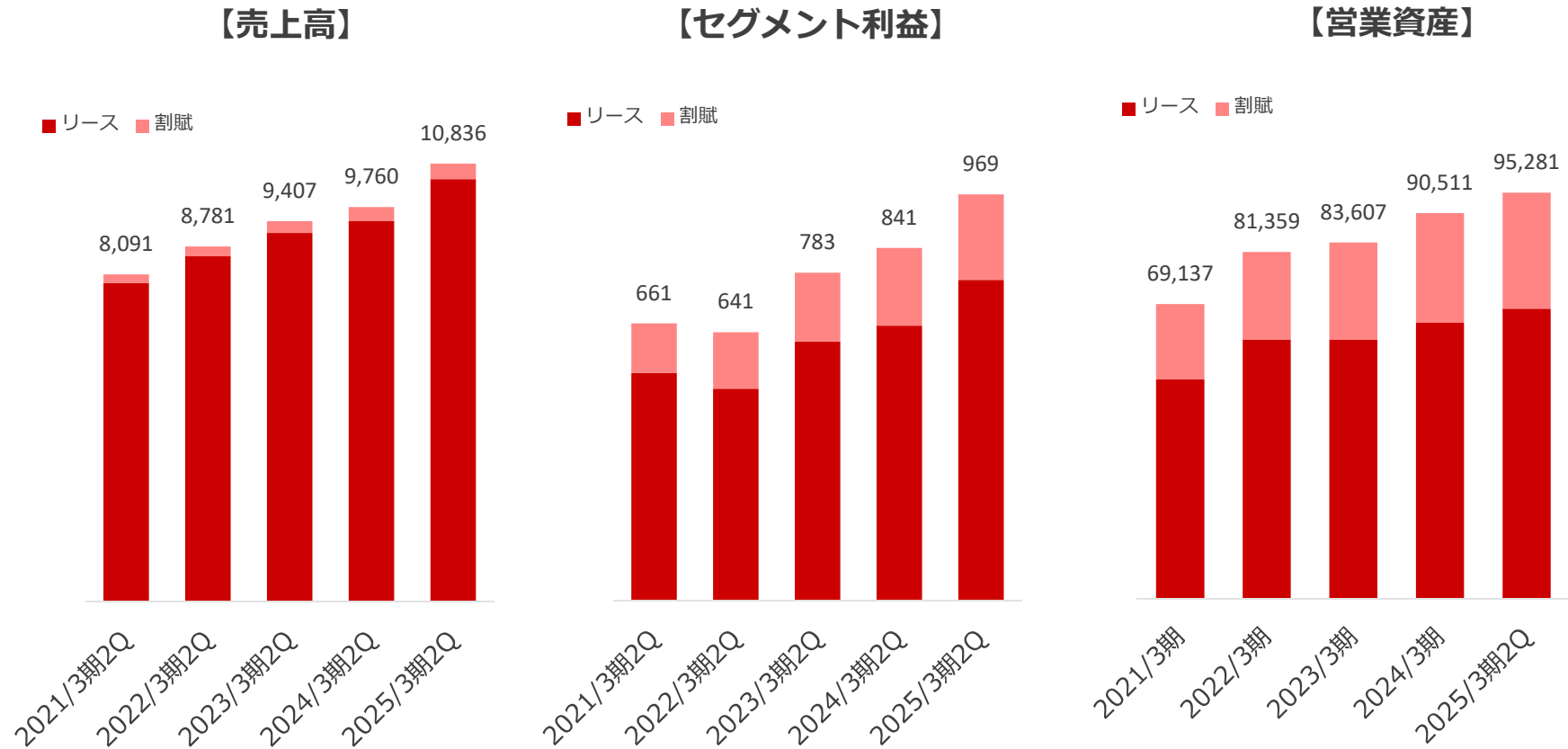
単位：百万円



セグメントの状況 (リース・割賦) ①

建物リースや低炭素機械設備などの環境関連分野向けを中心に新規実行高は順調に推移
 貸倒関連費用は低位な水準を維持しており、費用よりも戻入益が上回っている状況
 売上高は前年同期比11.0%増、営業利益は15.2%増、営業資産残高は前期末比5.3%増

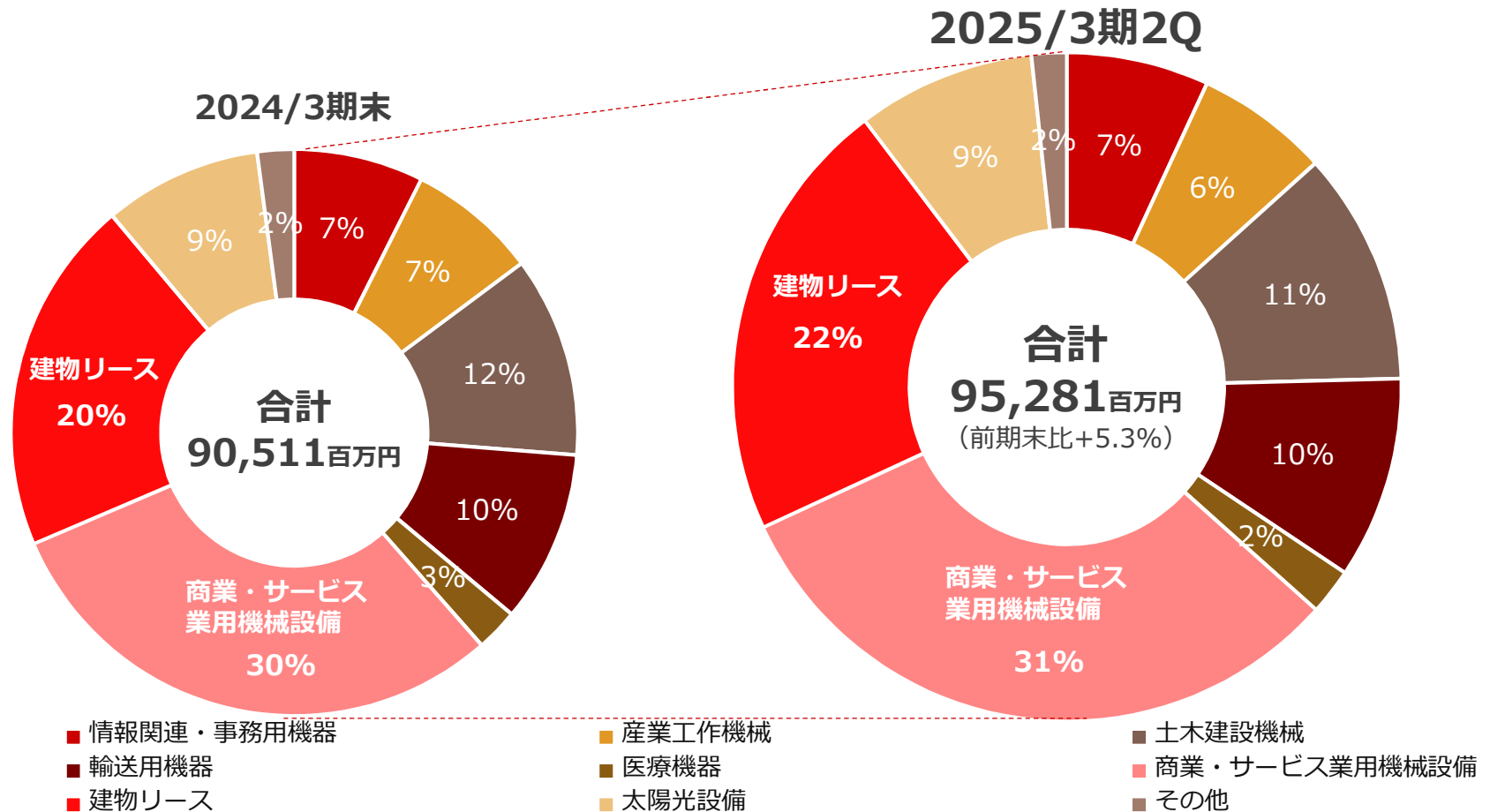
(単位：百万円)



セグメントの状況 (リース・割賦) ②

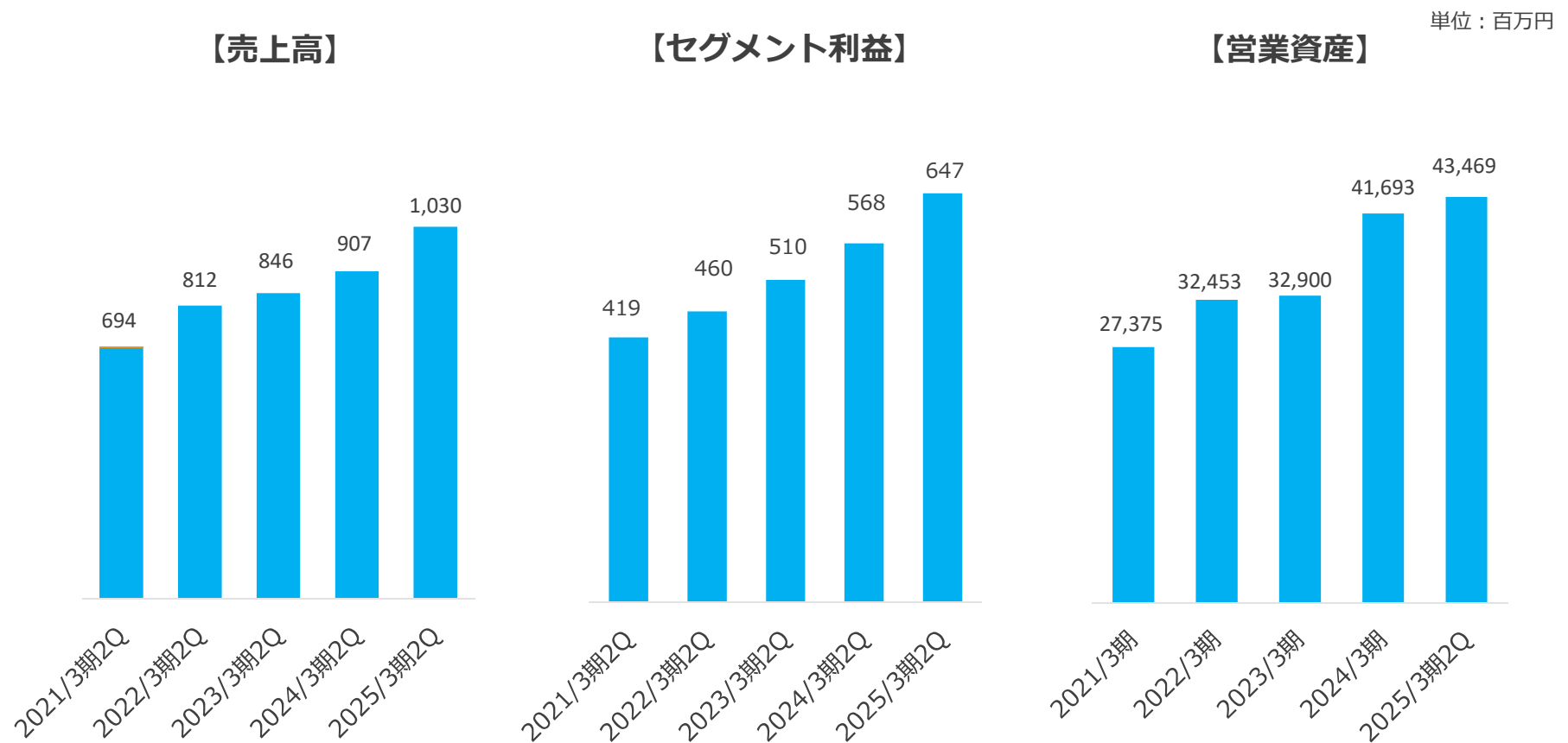
商業・サービス業用機械設備（什器、店舗機械設備等）のシェアが高い点が特徴
 足許では収益性が高く比較的長期契約となる建物リースに注力し拡大

【リース・割賦営業資産残高（機種別）】



セグメントの状況 (ファイナンス)

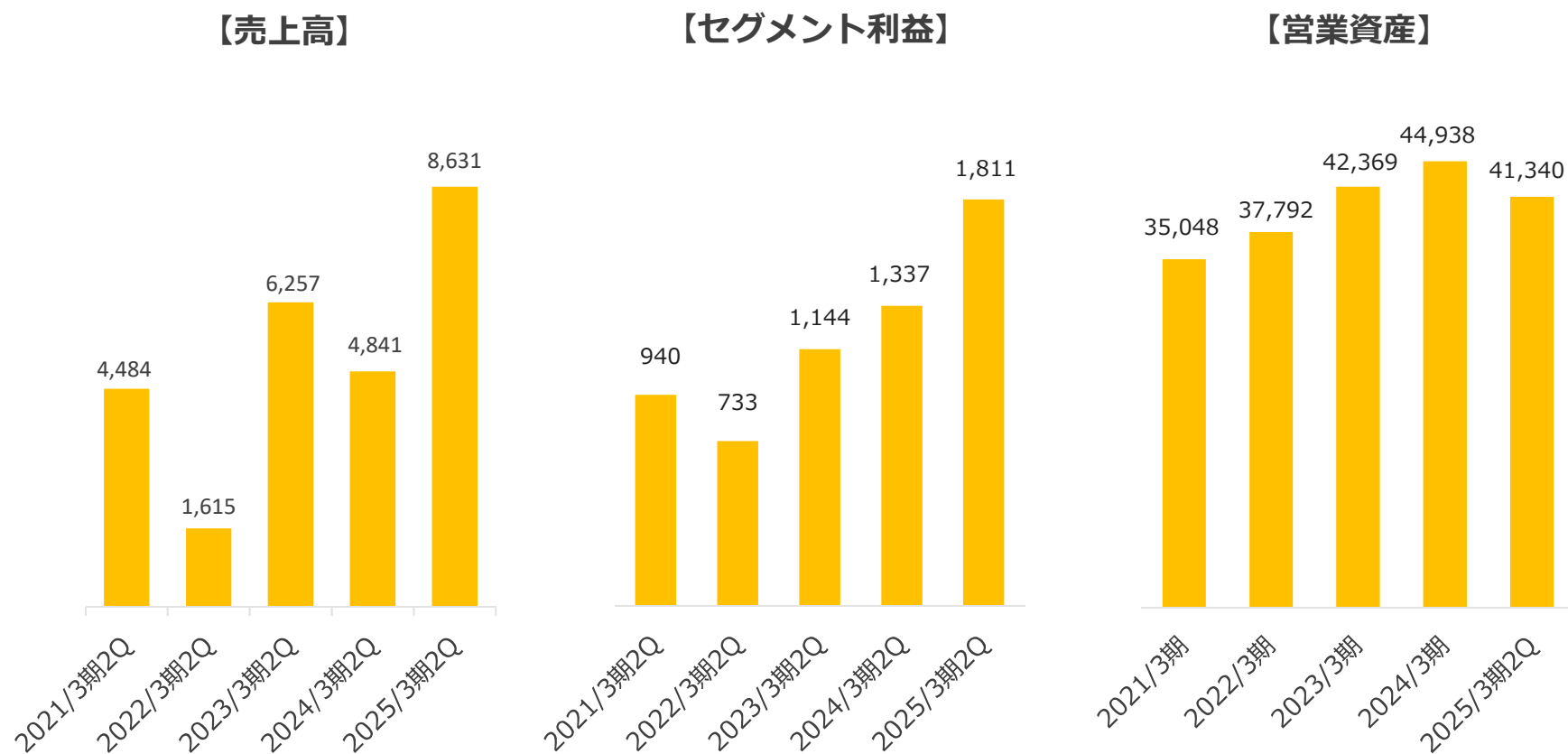
2025/3期2Qは、営業資産の積み上げに伴い利息収入・手数料が増収となり、売上高は前年同期比13.5%増、営業利益は前年同期比13.9%増、営業資産残高は前期末比4.3%増



セグメントの状況（不動産）①

連結子会社における不動産販売収入に加え、昨年グループ化した西日本不動産開発との連携により不動産仲介収入が増加し、売上高は前年同期比78.3%増、営業利益は35.5%増、営業資産残高は新規取得を売却が上回り前期末比8.0%減

※各期中における大型不動産販売の有無により売上高や利益が変動する傾向あり



セグメントの状況（不動産）②

- 中長期的に保有する賃貸不動産はほぼ100%の稼働率を維持し、安定した収益を計上
毎期一定程度の販売用不動産の取得・売却を行い、資産を入れ替えながら収益を確保
- 不動産仲介収入についてはノンアセットかつ高い収益性を見込める事業と認識
西日本不動産開発との人的交流やシステム連携、情報共有などのシナジー強化により好調な実績を確保。引き続きシナジー加速に取り組む

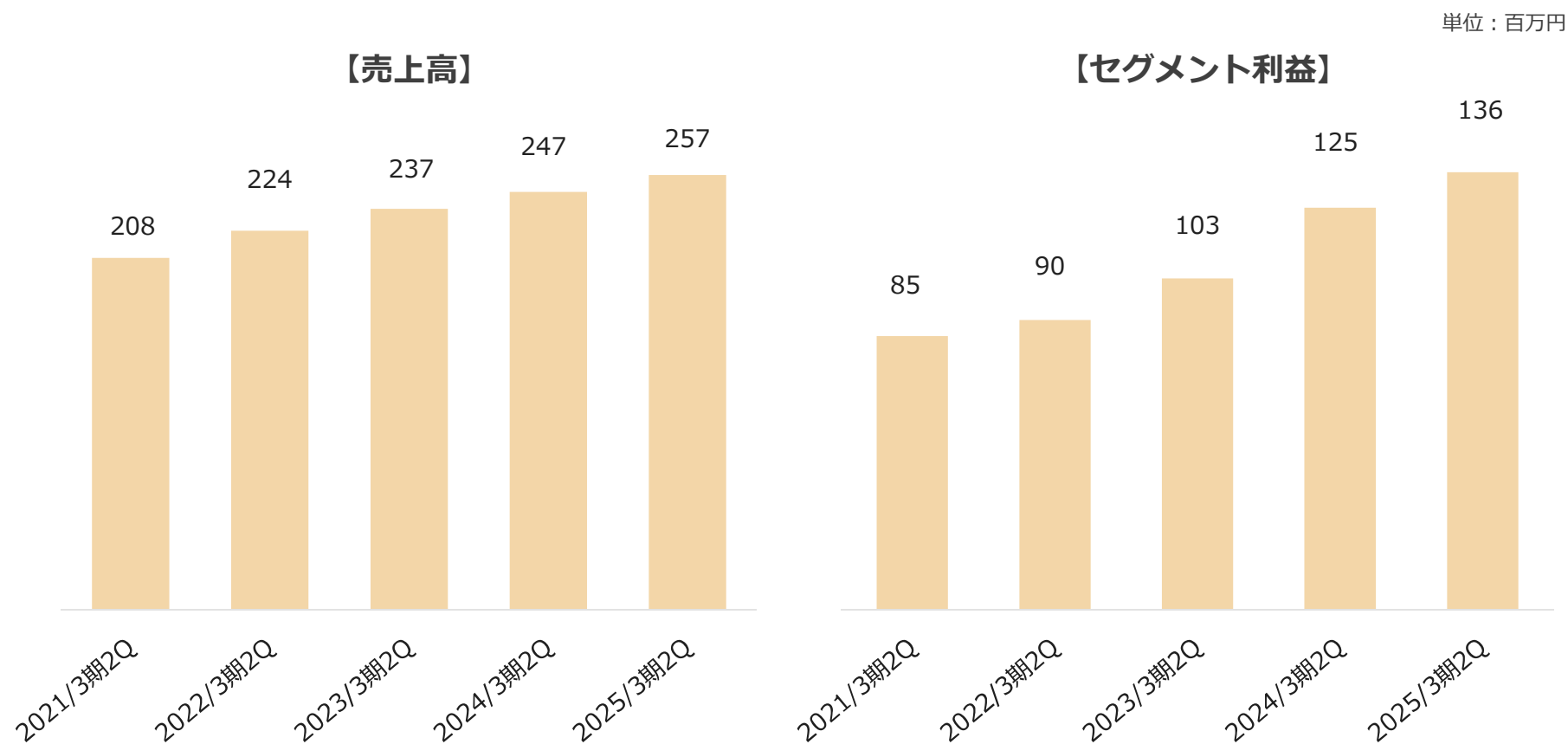
■不動産セグメント内訳

(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益		
	2024/3期 2Q	2025/3期 2Q	増減率 %	2024/3期 2Q	2025/3期 2Q	増減率 %
賃貸不動産	1,619	1,659	+2.5	738	789	+6.9
販売用不動産	2,971	6,331	+113.1	557	642	+15.4
仲介手数料	170	513	+200.9	16	312	+1,789.3
その他	79	126	+130.2	24	66	+170.1
合計	4,841	8,631	+78.3	1,337	1,811	+35.5

セグメントの状況 (フィービジネス) ①

カーリースの紹介手数料収入及び保険代理店収入が堅調に推移したことにより、売上高は前年同期比4.0%増、営業利益は8.8%増



(注) 2019/3期以前は環境ソリューションセグメント調整前

セグメントの状況 (フィービジネス) ②

■セグメント内訳

(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益		
	2024/3期 2Q	2025/3期 2Q	増減率 %	2024/3期 2Q	2025/3期 2Q	増減率 %
カーリース紹介料	161	167	+3.6	77	83	+7.1
生命保険手数料	38	40	+7.5	21	23	+12.3
損害保険手数料	37	41	+12.4	20	24	+22.6
その他	10	7	△30.9	6	4	△24.1
合計	247	257	+4.0	125	136	+8.8

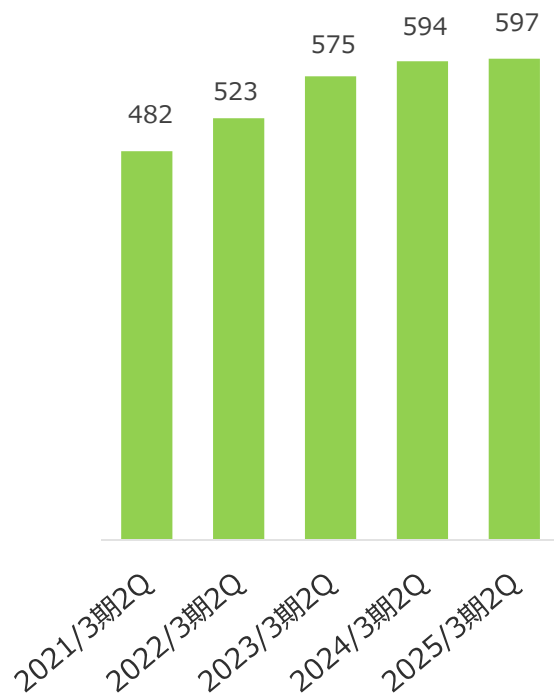
(注) 2019/3期以前は環境ソリューションセグメント調整前

セグメントの状況 (環境ソリューション)

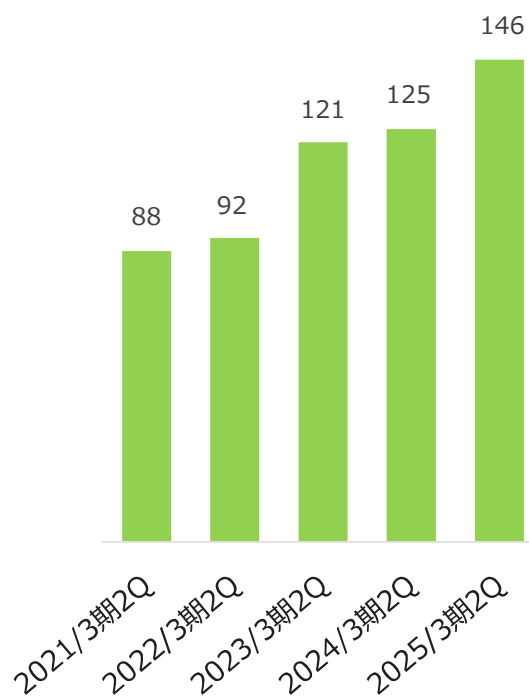
2020年4月より、SDGsに貢献する環境関連ビジネスへの取り組みを踏まえ、従来その他に区分していた「売電事業」、「リース・割賦」に含まれていた「LEDレンタル事業」を「環境ソリューション」に変更

売上高は前年同期比0.5%増、売電収入が堅調に推移し営業利益は17.3%増、太陽光発電所を新規取得し営業資産残高は前期末比4.4%増

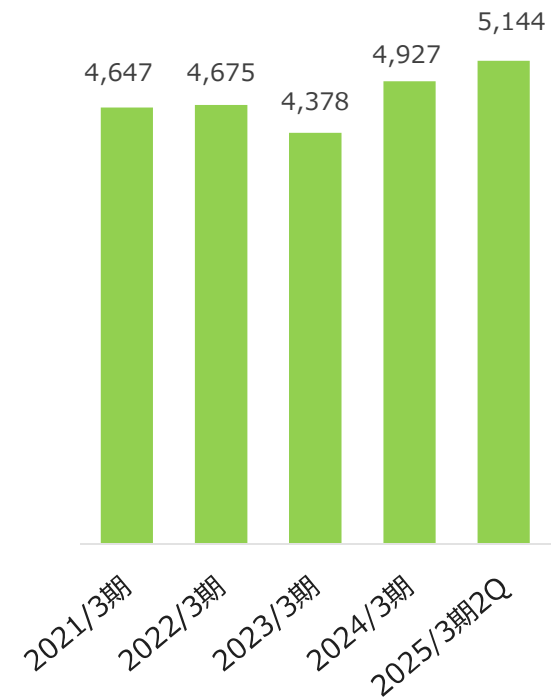
【売上高】



【セグメント利益】



【営業資産】



3

2025年3月期 業績予想（上方修正）

2025/3期 業績予想（上方修正）

2025/3期の通期連結業績予想を上方修正

- ・各セグメントとも増収増益となるなど、足許の業績が好調に推移
- ・リース・割賦やファイナンスを中心に将来利益に繋がる営業資産残高は順調に増加
- ・信用コストは低位な水準で推移し、管理面においても収益上振れに寄与

→ 各セグメントの進捗状況や信用コストの抑制を踏まえた売上及び利益の見通しを反映

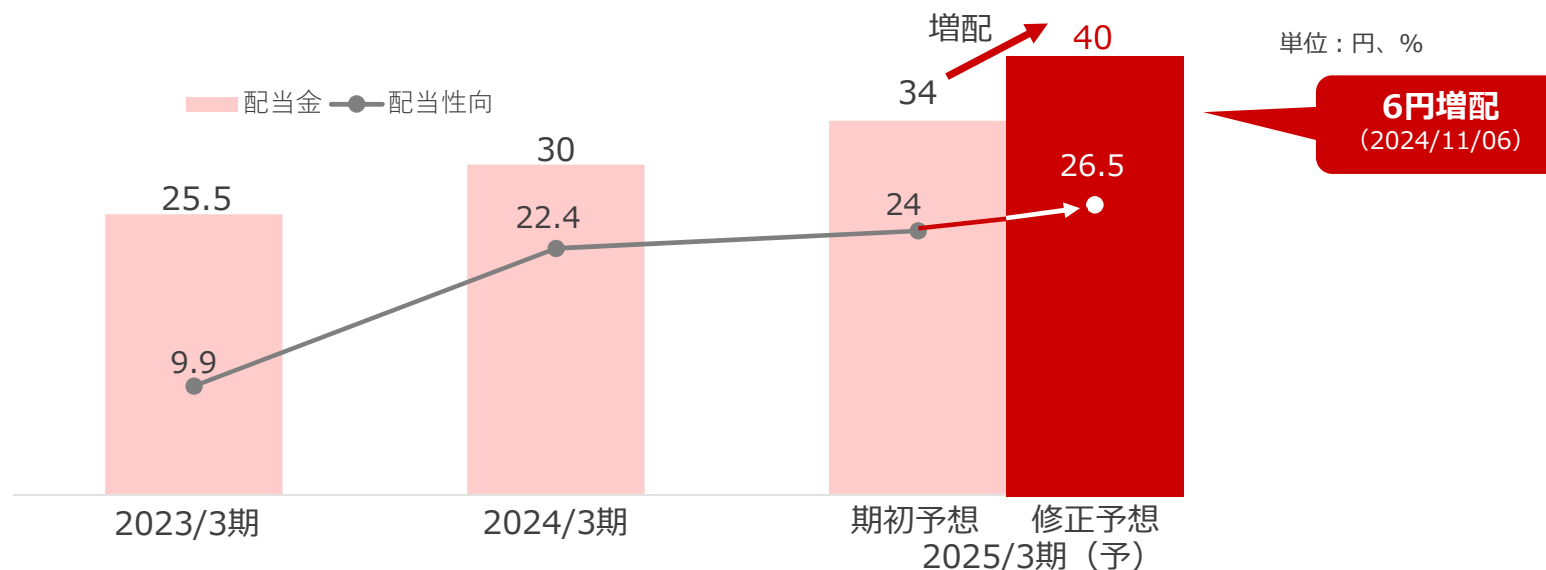
単位：百万円、%

	2025/3期 期初予想 (2024/5/8)	2025/3期 修正予想 (2024/11/6)				
	通期 予想	通期 予想	進捗率		増加額	増加率
			上期実績	進捗率		
売上高	34,500	38,500	21,365	55.5%	+4,000	+11.6
営業利益	4,800	5,300	3,374	63.7%	+500	+10.4
経常利益	4,700	5,100	3,303	64.8%	+400	+8.5
当期純利益※	3,200	3,400	2,050	60.3%	+200	+6.3

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

配当予想

配当による株主還元を基本とし、内部留保の充実による財務体質の強化を図りつつ、安定的に配当を実施、加えて、利益成長に合わせて還元水準の適切な対応を図る



	2024/3期 実績	2025/3期 期初予想 (2024/5/8)	2025/3期 修正予想 (2024/11/6)	増減額	前年実績比
中間配当	12.50	17.00	17.00	-	+4.50
うち記念配当	-	2.00	2.00	-	-
期末配当	17.50	17.00	23.00	+6.00	+5.50
うち記念配当	-	2.00	2.00	-	-
合計	30.00	34.00	40.00	+6.00	+10.00

【お問い合わせ先】

株式会社九州リースサービス 総合企画部

TEL 092-431-2915

ホームページ : <https://www.k-lease.co.jp/>

■本資料の注意点

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が予測したものです。実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。
- 本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複写複製、または転載等を行わないようお願いいたします。